

命を守る泳ぎを学ぶ

YMCA による特別水泳授業

津森小で6月18日、公益財団法人熊本YMCAによる特別水泳授業が行われました。

「みんな泳げる25m運動」をテーマに、YMCAが特別講師となり毎年実施しているこの授業は今年で9年目。小・中・高学年に分け3こまの授業が行われ、YMCAの職員2人が命を守るための泳ぎ方を指導しました。

今年から大きいプールで泳ぎ始めた3年生の児童は、「クロールの息継ぎが難しかった」、「平泳ぎやクロールを泳げるように頑張りたい」などと話しました。



マウスシールドを付けて泳ぎ方を指導



㊦除幕式に参加した関係者 ㊦市内の小学生が描いた絵

子どもたちが描く未来の空港

仮囲いアートプロジェクト「未来の空港」除幕式

阿蘇くまもと空港で7月2日、仮囲いアートプロジェクト「未来の空港」除幕式が行われました。

このプロジェクトは、同空港新旅客ターミナルの工事現場周囲へ設置される仮囲いに、空港周辺地域の小学生が描いた絵を展示するもの。第1弾として、本町の小学生140人が描いた絵が10月まで展示されます。

西村町長は、「絵を描くことで未来の空港へ夢を膨らませる子どもたちの熱い思いが、訪れる人の心を癒やし、笑顔の絶えない空港の実現につながる」と述べました。

被災者の生活再建支援に感謝

スクリーン
 (株) SCREEN ホールディングスに感謝状を贈呈

町と県は7月7日、(株) SCREEN ホールディングスに感謝状を贈りました。

この感謝状は、熊本地震から約5年間、同社所有の土地が、仮設住宅建設用地として無償貸与されたことに対し贈られたものです。その土地には516戸の仮設住宅が建設され、県内最大の仮設団地となりました。

県庁で感謝状を受け取った同社の垣内永次会長は、「少しでも被災された人々や町の復旧・復興のお役に立つことができたならば幸いです」と話しました。



感謝状を受け取った(株) SCREEN ホールディングスの垣内会長(中央)

Best Smile
 今月のベスト笑顔

